

ICU ジェンダー研究センター

ジャーナル『Gender and Sexuality』投稿規定

2007年6月現在

1) ジャーナル概要

『Gender and Sexuality』は、国際基督教大学ジェンダー研究センターが年一回発行するジェンダー・セクシュアリティ研究分野の学術誌である。研究部門では、ジェンダー・セクシュアリティ研究における実証的研究や理論的考察に関する論文を掲載する。フィールド部門では、活動家によるケーススタディ、組織・国内・国際レベルにおけるジェンダー関連活動に関する報告を掲載する。書評部門では、ジェンダー・セクシュアリティに関連する近刊書に関する書評を掲載する。

2) 第3巻発行日： 2008年3月

3) 第3巻論文投稿締切： 2007年9月29日(土)当日消印有効

4) 原稿提出先： 国際基督教大学ジェンダー研究センター編集委員会

郵送： 〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2 ERB301

電子メール： cgs@icu.ac.jp

5) 応募要綱

a) 原稿

・本誌に投稿される原稿は、全文あるいは主要部分において未発表であり、他誌へ投稿されていないものとする。

・使用言語は日本語または英語に限る。

・原稿の書式は、Publication Manual of the American Psychological Association (2001年発行第5版)とする。

・第一言語でない言語を使用して論文を執筆する場合は、必ずネイティブ・チェックを通す。書かれた論文に文法的な問題が見られるなど不備が目立つ場合は、その理由により不採用になる可能性がある。

・姓名・所属・住所・電話およびファックス番号は別紙による表紙に記載する。審査過程における匿名性を守るため、原稿の他の部分では執筆者氏名は一切伏せること。

・原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。

・本誌が国際的に発表される学術誌であることを踏まえ、たうえで原稿を執筆すること。

・本規定にそわない原稿は、改訂を求めて返却されることがある。

a-1) 研究およびフィールド部門

- ・原稿は、図表、図版、参考文献および注なども含めて 16,000～20,000 字の長さとする。
- ・タイトルは最長 40 字とする。簡潔明瞭で、主要なトピックを抑えたものであることが望ましい。
- ・500 字の要旨および 5 語以内のキーワードを別紙に添付する。

a-2) 書評部門

- ・書評部門の原稿は、図表、図版、参考文献および注なども含めて 5,000～10,000 字の長さとする。
- ・タイトルは評する書籍、論文のタイトルが主題、若しくは副題のいずれかに含まれているものとし、最長 40 字とする。
- ・要旨およびキーワードの提出は求めない。

b) 図表および図版

- ・図表は別紙で添付すること。本文内に取り込まないこと。
- ・図版は直接印刷に耐える画質のものを添付すること。
- ・本文中における図表・図版のおおよその位置を原稿上に示すこと。

c) 提出原稿

- ・原稿は、電子ファイルと印刷コピーの両方を提出する。
- ・印刷コピーは、A4 用紙にダブルスペース・片面印刷したものを 3 部提出する。
- ・電子ファイルは、MSWord 等の一般的な文書作成ソフトで作成し、電子メールに添付して提出する。
- ・添付ファイルおよび印刷コピーの内容は完全に一致したものであること。
- ・原稿投稿後、原稿に修正を加えた場合、修正原稿は電子メールに添付して提出する。
- ・提出された原稿等は返却しない。

6) 校正

校正用原稿が執筆者に送付された場合、校正のうえ、提出期限内に返送すること。

7) 審査過程

投稿原稿は編集委員会が指名する 3 人の審査者によって審査される。審査では独自性、学術性、論旨の明快さ、重要性および主題のジェンダー・セクシュアリティ研究に対する貢献度が考慮される。原稿の改稿が求められる場合、審査意見および編集コメントが執筆者に伝えられる。投稿の受理・不受理の最終判断は編集委員会が下すものとする。

8) 著作権

投稿を受理された論文の著作権は、他の取り決めが特別になされない限り、国際基督教大学ジェンダー研究センター編集委員会が保有するものとする。自己の論文および資料の複製権および使用権に関して、執筆者に対する制限は一切なされないものとする。

9) 原稿の複写

原稿が掲載された執筆者には3冊（複数執筆者がいる場合は5冊まで）の該当誌を贈呈する。なお、それ以上の部数については掲載原稿の抜き刷りをジェンダー研究センターに注文することができる。

10) 購読申込

該当誌の購読の申し込みはEメール cgs@icu.ac.jp で受け付ける。

当規定は予告なく改定されることがある。